

【1 分解説】法の支配とは？

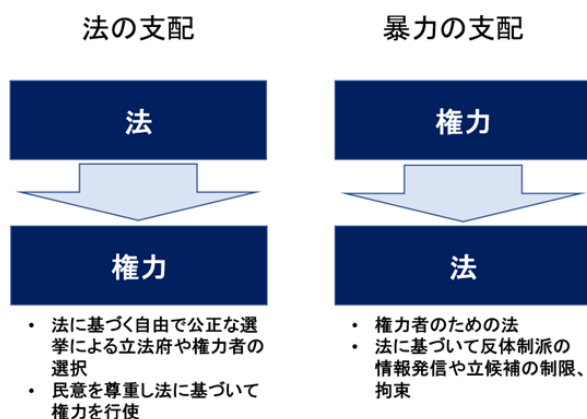
総合調査部 マクロ環境調査グループ長 石附 賢実

法の支配 (rule of law) とは、権力に対して法の優越を確保する考え方です。法の支配が機能しているかどうかは、実質的に法が権力の上位に位置付けられているのか、下位に位置付けられているのかをみることで判別できます。

ここでは単純化して選挙の例をみてみましょう。法の支配のもとでは、意思表示や報道の自由が保障され、立候補の制約もないなかで公正な選挙が行われ、選ばれた権力者は有権者の期待に応えようと政策を立案し行動します。一方で、法の支配が機能していない権威主義的な国では、選挙が実施されない、あるいは実施されても情報を自由に入手できないなかでの選挙となり、そもそも反政府的な候補者は立候補もできず、身体的拘束すらされてしまいます。法の支配ではなく、支配のための法ともいえるでしょう。

法の支配の対義語は、力の支配 (rule of power)、もしくは人の支配 (rule of man) とされることが多いようです。より日本語として分かりやすく表現すれば、力や人は「権力」と読み替えることができますし、先ほどみたような権力者による公権力の乱用に鑑みれば「暴力」と読み替えることもできるでしょう。

資料 法の支配のイメージ



(出所)第一生命経済研究所作成

(注) 国家における法と権力の主従関係のみに特化し単純化したイメージ。

関連レポート

・「安全保障と ESG～安全保障は Social マターなのか～」(2023 年 4 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/241313.html>